

令和3年度広報議会モニターアンケートの集計結果

【調査目的】 「あいづわかまつ広報議会」をより読みやすく、わかりやすい広報紙とするため、広報議会モニターから紙面に関する意見等を伺い、より良い広報議会編集の参考にしていきます。

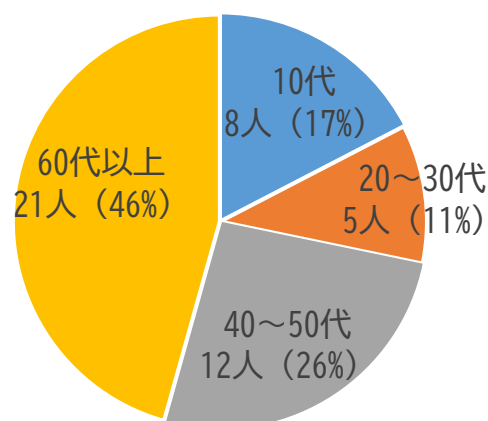
【実施期間】 令和4年2月2日（月）～2月21日（月）

【対象者数】 広報議会モニター60名

【回答者数】 46名（回答率76.7%）

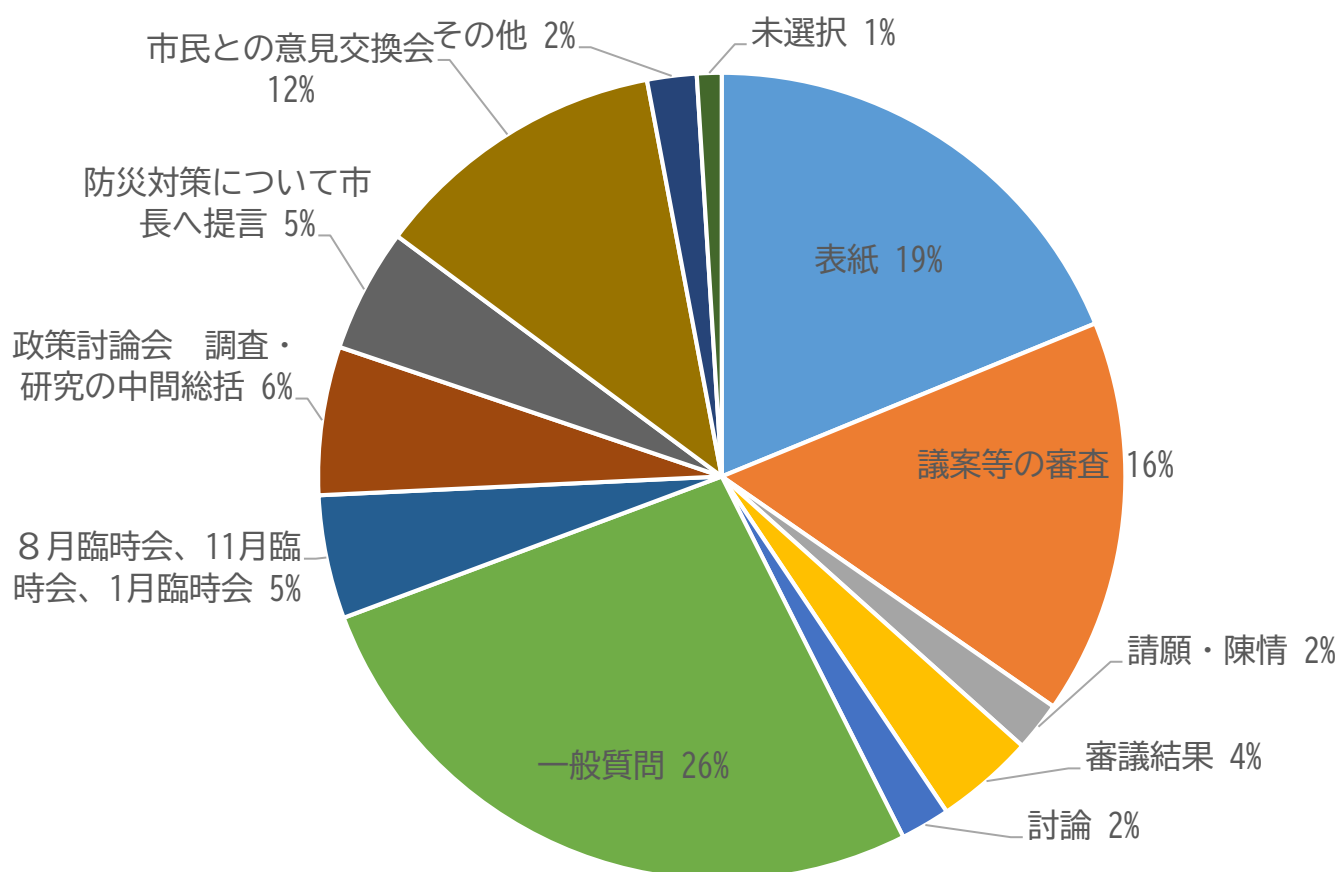
【実施方法】 郵送配布、郵送による回収

＜回答者の年代構成＞



【アンケートの集計内容】

【問1】 広報議会11月号及び2月号を読んで、印象に残った記事は何ですか。また、その理由もご記入ください。（3つまで回答可）



※ 問1について、記述いただいた意見

選択肢	意見等	年代
1 表紙	表紙は、少子化が進んでいる会津ではありますが、その中でも子ども達が元気に過ごしている姿が見られ、少しでも希望を与えられるような気分になって良いと思います。	10代
	子ども達がどんなことをしているのか知る機会になるため、いいと思いました。楽しそうにしている子どもたちを見たら元気がもらえました。	
	若松市内の幼稚園児たちが、一生懸命活動している姿がかわいらしく、また、コロナ禍であっても楽しそうに活動している姿に励まされました。	
	表紙の写真が、子ども達が活動している様子を表していていいと思いました。	
	表紙にかわいい子ども達が載っていて、とても癒されました。また、何ページに何が載っているかなども書いてあるので、とても見やすいです。	
	子どもたちの活動。	20代～ 30代
	本市の未来を担う子ども達が表紙になると、すごく気持ちがいいし、読むきっかけになります。	
	子どもたちの行事風景が良く、読みたくなります。	40代～ 50代
	子どもたちの写真が大きく良いと思います。	
	子供達の顔がいきいきと写っていてとても癒されました。	
	中身が固いので、目に付く表紙として子どもの写真が最適だと思います。	60代 以上
	表紙は、幼児教育の現場の楽しい写真。	
	子どもたちの未来のために議会があるという、いい写真だと思います。	
	11月・2月号に掲載された子ども達の姿がほっこりした感じで、うれしい思いをしました。未来の会津若松市を背負って立つ顔や姿、躍動感、写真の撮り方に感動しました。	
	会津若松市の未来を担う子ども達の表紙はとても良いと思います。	
	四季折々の色で将来を託す子ども達の元気な姿に好感が持てます。	
2 議案等の 審査	分かりやすく情報がまとめられていました。	10代
	記事が分かりやすく情報がまとめられていました。	
	議会等の審査に関して、一つ一つの議題の内容の記載があり分かりやすい。	20代 ～30代
	3つの議事はどれも市の取組や各議員の考え等を知ることができる内容となっており印象に残った。	
	道路整備では、幹Ⅰ－24号線の議会への陳情後、市へ要望していますが期待できる回答はありませんでした。もう少し議会で議論していただきたいです。	40代 ～50代
	各項目が断片的な印象を受けます。まず前半で全体像を示しながら後半で各項目を掘り下げると解りやすいです。	

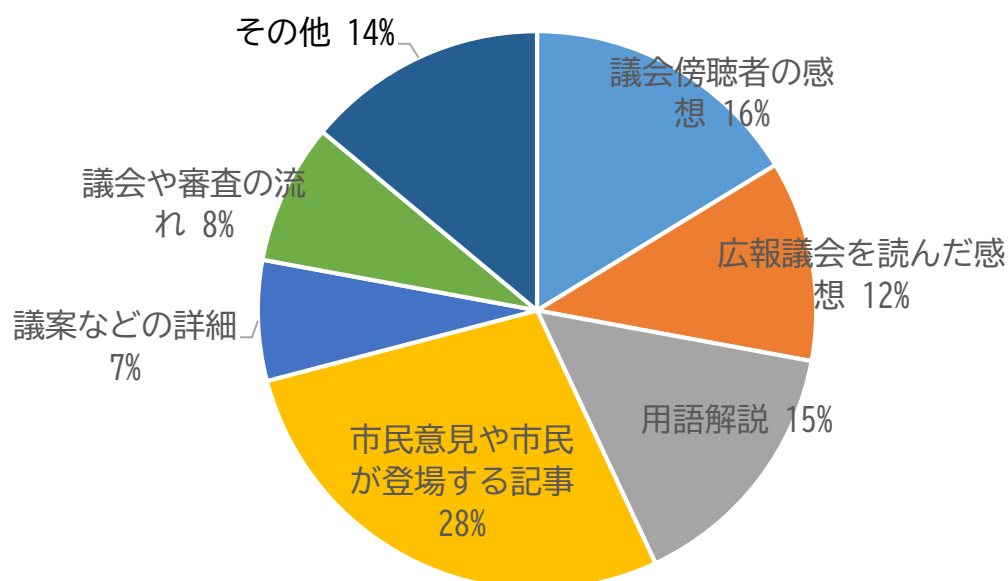
	除雪の民間委託について、問題点が分かりやすくまとめられていました。 議案、一般質問ともに様々な分野の多岐にわたる事業や取組、考え方などが掲載されており、現在の市の動きなどに理解を深められます。市民に寄り添った内容の質問などもあり、一市民としては議員さんの日頃の活動に敬意を感じるとともに、今後も市民のために取り組んでいただけることに期待を感じました。このような活動などを市民に知ってもらうためにも、詳しく分かりやすく伝えられるよう工夫を続けていただきたいです。	
	そういう考え、視点があったのかと考える機会になりました。多面的・多角的な見方、考え方ができるように思います。 議案の審査について財政基盤、新型コロナウイルス感染症対策などの議案について関心があるため。議員各位から要望事項が各項目別に出ていますが、その後の確認が大事です。 要望的意見は分かりやすく参考になります。 どのような議案が提出され、どう審議されているかが分かりやすく記載されていきました。写真があるとよいと思います。 審議結果については、件名が記入されているが内容がよく分かりません。具体的に内容まで触れると量が多くなると思いますが、どこに行けば内容が分かるのか等明記しても良いと思います。 議案等に対する質疑と審査においては、問いに対して要望的意見としてまとめてあり、大変内容が分かりやすいです。 9月議会の決議で、興味のある内容がわかる決議が記載されていきました。	60代以上
3 請願・陳情	請願・陳情で市民団体の活動の様子が分かります。	40代 ～50代
4 審議結果	質疑・回答内容などが簡潔でよい。さらに、円グラフなどの図解化を進めてほしいです。 賛否が一覧で見やすいと思います。	60代以上
5 討論	討論・一般質問については、各議員さんの意見や考え方が分かる部分であると思います。 児童館が廃止になり西七日町児童館 1ヵ所だけになってしまうのは残念です。子どもの居場所がどんどんなくなってしまうと思います。	20代 ～30代
6 一般質問	分かりやすく情報がまとめられていました。 記事が分かりやすく情報がまとめられていた。 質問と答えの色分けをしているのはよいと思いました。でも字が多く、読む気にはあまりなれません。 特に2月号の丸山さよ子議員の「学校のトイレに生理用品の配備を」という質問は、私も必要だと感じ、ぜひ導入していただきたいと思いました。 一般質問に対する答えもしっかり分かりやすくされていたのでいいと思い	10代

ました。	
普段、私たちが疑問に思っていることについて書いてあり、興味を持ちやすく身近に感じやすかったです。	
今後の会津若松市がより良いものとなるように議員の皆さんが沢山質問されていた。また、市の方針が見やすくまとめられており、印象に残りました。	20代 ～30代
一般質問では、全議員の質問内容を記載したほうが良いと思うが、記載していない議員はそもそも質問していないのでしょうか。そうであれば、取り組む姿勢に疑問を持ちます。QRコードで質疑の動画が見られるのはいいと思います。	
県立病院跡地の今後が気になります。	
空き地の将来が印象に残りました。	
1人の市民として、どういう一般質問がされているのか気になるため。	
一般質問には、各議員の録画映像にアクセスできるようバーコードが記載されており、議会が身近に感じられ好感がもてる。	40代 ～50代
代表質問では今まさに知りたい内容、個人質問では様々な内容を知ることができました。	
米価下落は深刻です。JA等できちんとした指針を出し、市としても支援していただきたいです。	
県立病院跡地の活用、スーパーシティ、消防団、少子化対策、子ども庁と今必要な審議が的確になされていると思いました。コロナ禍で一般的に売上や賃金が下がっている中で、議員や市長の報酬額を下げることは市民感情を考えても良いことだと思います。市民との意見交換会に何回か参加しましたが、大切だと思いました。	
問と答が簡潔で良い。答も太字で良いのではないのでしょうか。	60代以上
会派、議員の質問答弁が分かりやすく、読む気になります。	
議案等の審査と一般質問に関しては、問いと答えと分かりやすく記載されていたので読みやすかった。	
様々な視点から問題点を取り上げることは良いと思います。	
各議員の見識、思想などが読みとる事ができて、議会のレベルが正常かどうかの判断材料になります。	
12月の一般質問における新型コロナウイルス感染症に関する答弁において、十分な対策や支援を行っているかのような回答となっていますが、障がい福祉サービス事業者は、給付対象に該当するものがほとんどなく、運営が厳しい中、独自の予算で感染症対策に取り組んでいました。県内の他自治体では、行政から障がい者施設等に支援の一助として助成金を出しているところもあります。事業者をひとくくりにしない考え方が必要であると思います。	
色々な意見があるのにはびっくりしました。会派が分かれています。もっと市民目線で事前に会合を開催し、議論をしばり、掘り下げたものにしては	

	どうでしょうか。 各議員さんの日頃の思いやどのような立場で質問されているのか、それを市の方ではどのように捉えて市政に反映していこうとしているのでしょうか。大変興味深く毎回読んでいます。	
7 8月臨時会、11月臨時会、1月臨時会	議長・副議長選挙の無効票が多すぎです。なぜ無効になるのでしょうか。真面目に投票していない結果だと思います。同じ仲間として相手を尊重したり応援したりできないのですか？残念です。 ワクチン接種は、高齢者や障がい者の方への周知方法や接種日について、細やかな支援や対策が必要であると強く感じます。 議長再任挨拶の中で、コロナ禍対策の決意は表明されているが、具体的方策が現在に至っても示されていないと思います。	40代 ～50代
8 政策討論会 調査・研究の中間総括	中間報告ではあるが、会津若松市の今後の方向付けが推測され参考となりました。 各方面の問題に触れて課題として深く掘り下げた討論をしていると思います。現在のコロナ対策ならびに深刻な自然災害（台風・水害・雪害）から市民を守る防災・インフラ整備などの取組重点項目が今後の重大な課題の1つと思われます。 すべてのテーマを詳しく、良くまとめてあると思います。 具体的な成果があった場合は掲載してください。	60代以上
9 防災対策について市長へ提言	東山地区でも防災に取り組んでおり良かったです。 災害弱者と言いますか、災害に強い者はいません。全員弱者です。災害弱者ではなく、避難弱者、情報弱者のように感じます。ご高齢の方への支援や乳幼児のいる家庭、ペットも大切な家族と思っている方々もいます。災害は夜間にも起きます。いろいろな状況を考えていることを感じて選びました。 平時の地域防災について提言を行ったことは高い評価ができます。しかし、実行可能かは不明です。予算化するには困難であるが、実行可能な提言まで踏み込んでいただきたいです。 防災対策は、いつ・どこで大規模災害が起きるか分かりません。災害を最小限に抑える事が不可欠です。誌面に記載されているとおり、市民が重要さを感じられるよう防災訓練など、コロナ禍であっても必要であると思います。また、コロナ禍であっても災害は発生します。 道路等の破損箇所の発見や雪道の状態など民間企業独自に開発しているAI機能付きドライブレコーダー搭載の自動車は数百台位あると思われます。その映像を利用した共同によるICT開発などできないものか検討の余地があるのではないのでしょうか。	40代 ～50代
10 市民との	普段、私たちが疑問に思っていることについて書いてあり、興味を持ちやすく身近に感じやすかったです。	10代

意見交換会	市民からの意見は多々あると思いますが、意見交換の中で出た課題を解決するために、尽力されていることが感じられました。	20代 ～30代
	スーパーシティにすると、どのようなメリットがあるのか知りたいです。	
	市民の声や意見などで読みたい気持ちになります。	40代 ～50代
	排雪の問題は気になります。今年は雪が多く道路が狭くなり、事故が起こりそうでヒヤヒヤします。	
	市民との意見交換会で、どのような意見が出され、それに対する議会の発言もあり大変参考になりました。	60代以上
	多様化する地域課題はたくさんあります。地区の状況は区長が一番把握しているため、解決を図り良い町内にするためにも意見交換会は必要です。	
	具体的な成果があった場合は掲載してください。	
11 その他	議会の動きに関し、各種会議は多く開催されていますが、喫緊の課題であるはずのコロナ対策に関し、議会全体で議論すべく、例えばコロナ対策検討委員会的な議論の場が設置されないのが不可解です。	60代以上
	市政に対する要望的意見や事務執行の適正化に対する要望が多く目立つが、このことは市政、議会双方の日頃のコミュニケーション不足の現われに他ないと思われます。	
未選択	市役所庁舎建設については、ほぼ方向性が見えて来まして、それに対する意見はありません。	

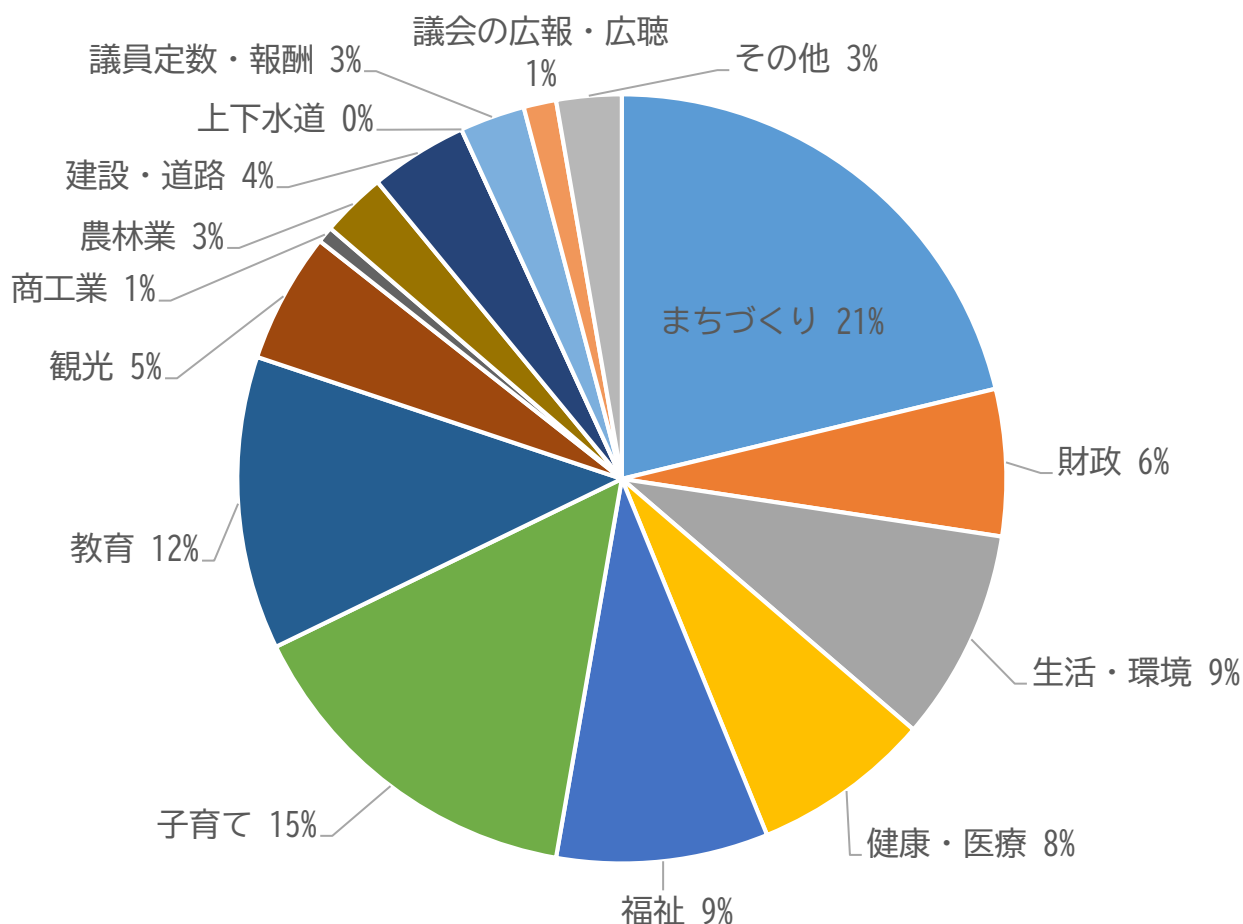
【問2】広報議会に掲載してほしい記事や情報はありますか。（複数回答可）



※ 問2⑦その他について、記述いただいた意見

区分	その他の意見	年代
議会に対する感想	傍聴人数とテーマに関連性があると思われます。	60代以上
	県立喜多方病院跡地の事業は当市より一歩進んでいます。喜多方市議会と交流し意見を聞く機会をつくってみたいかがですか。	
	市長、議員（会派）との考え方（どうして賛成・反対）	
記事要望	市民と議員の活動内容をもっと記事にしてはどうでしょうか。	40代～50代
	議員のコラム。市民に議員のプライベートなことを知ってもらうためにひとりずつ自分のことを書く。	
	議員の日頃の活動や議員としての仕事を知ってもらうことも良いのではないのでしょうか。	
	【広報トピックス情報】 コロナ禍での状況であり、感染(陽性)、否か(陰性)の抗原、PCR 検査を年代問わず希望者には調べられるシステムの広報など、トピックスで情報掲載してはどうですか？早期発見が感染防止に繋がると思います。 将来、市の中心となって活躍が期待される新成人から議会、市政に対する意見、感想等を聴取して掲載してもらいたいです。 スマートシティについて。	60代以上
広報紙全体	情報はキャッチボールが必要であるとの観点から進めてほしい。	60代以上
	市民が広報議会をどの程度みているか、その反応を知ることができないのでしょうか。	
その他	スーパーシティやスマートシティの定義が市民に伝わっていません。一部の IT 企業が潤うだけとの声も耳にしています。市民にとっての具体的なメリットが伝わっていないと思います。	40代～50代

【問3】 市政や議会活動について、どのような分野に関心がありますか。（複数回答可）



※ 問3について、記述いただいた具体例や詳細

選択肢	具体例・詳細	年代
1 まちづくり	観光に力を入れると市民は幸せになるのでしょうか。かけた費用は市民に還元されるのでしょうか。	20代～30代
	デジタル庁について	40代～50代
	将来の本市を考えた時、「ここに住みたい」「ここで働きたい」と思えるまちづくりが必要だと思います。会津若松の良さや会津若松だからできることを生かし、魅力ある会津若松をつくってほしいです。	
	まちなか会議等に参加させて頂いていますが、市の計画が変わらないところがあります。「水面下で進めています。」「専門家の意見を聞いています。」等で話が終わってしまうことが多いです。	
	教育に従事していますが、学校や行政だけでは十分な教育はできません。地域全体で町を守り、子どもを教育（育てる）する視点から①まちづくりを第一に掲げました。街づくりや施策を行うにも財政が大切です。	60代以上

	まちづくり、市の財政、福祉、健康医療、教育、子育てなどに関心があります。今後子どもの数が少なくなり広範囲に広がった町はコンパクトに、財政は成り立たなくなり、福祉、医療などお粗末な結果になりはしないでしょうか。	
	他市にいかなくても「遊べる」「楽しめる」ような、住んでいるだけで満足できるまちづくりを進めてほしいです。	
	中心市街地は市庁舎の整備だけではいけません。人や会社、焦点が集まってこそだと思います。官民一体で進めるべきではないでしょうか。	
	限られた市の予算を有効にまちづくりや生活環境の改善に使われていくことを望みます。教育面では、学校に全てを任せるのではなく、地域と協働で学習支援をしている取組は良いと思います。 これまでの形に囚われることなく、柔軟な考えとアイデアで市政を改革してほしいです。	
	会津若松市は、県内外の他地区の方々から歴史・文化について高い評価を受けています。市の財政は豊かとは言えない中で、市民が市を誇れるように「ソーシャルキャピタル」を実感できるまちづくりに貢献できるよう、議会力、議員力を発揮していただきたいです。	
2 財政	ふるさと納税、収入支出の流れ、公費の使われ方	10 代
	②行政は生きていく基盤ですので市議会で取り上げてほしいものです。会津若松市には自然、文化、伝統と歴史があります。それらに触れる機会はたくさんあります。一方電力、科学技術に関連することは多くないように感じます。日本初の高圧送電も会津、水力電源地帯も会津、スーパーコンピュータ用の半導体を製造していたのも会津、近世優れた暦を作ったのも会津です。子どもたちが科学技術に触れ合う機会やりピーターとなる施設や産業遺産となるものをここ会津若松で設けてほしいと思っています。	60 代以上
	財政の健全化は、市民が豊かである事のバロメーターにもなります。的確なる判断での支出を見守っていききたいです。	
3 生活・環境	扇町の公園について	40 代～50 代
	③生活環境は生きていく基盤ですので市議会で取り上げてほしいものです。	60 代以上
	自然、生態系の豊かな会津若松市の環境問題を市政や議会がどの様に捉えているのか、どの様にしているのでしょうか。	
4 健康・医療	市独自の思い切った施策を実施してもらいたい。議会では、かつて全国的に評価された独自改革を今一度。今だからこそ実行してほしい。 コロナ禍に対する提言・・・「迷ったら原点に戻れ」の例えどおりの基本的事項の、①検査体制の充実、②ワクチン接種の確立、③経口治療薬の確保、④療養病床の確保、以上の拡充を次の波に備え急ぐべきです。	60 代以上

5 福祉	一般質問では子育ては多いが、他の福祉関係は少ない。もう少し他に目を向ける必要があると思います。	40代～50代
	生活保護者の受給者の質の向上についてです。朝からパチンコ通いなど、余りにも見兼ねる行動に悲しい思いがします。市当局の指導などが在るべきだと思います。	60代以上
6 子育て	県立病院の跡地にできる、子育て支援施設に関心があります。	20代～30代
	少しでも支援してもらえると助かります。	
	子育て世帯の子ども一人10万円はありがたかったです。	40代～50代
	子育てしやすい町を目指していくべきです。子育てをする方を対象に、空き家のリフォームや家賃を安くすること、保育園に係る費用を無料にすること、親が勤める職場の確保など、手厚い補助を行い、よそより会津に人を呼べるような対策をするべきだと思います。お金はかかりますが、その後は税金が入ります。	60代以上
7 教育	GIGA スクール構想	40代～50代
	少子化問題も絵空事ではない現状が当市においても見られるようになりました。大戸小学校の学童低下、悲しい限りです。統廃合等の構想など、身近な問題を市議会に載せていただきたいです。	60代以上
8 観光	会津は観光の町なので、猪苗代湖1周道路の建設に力を入れてほしいです。	40代～50代
	映画館(シネマコンプレックス)について	
	戊辰戦争時代が表に出ているが、会津の藩歴は400年続いた葦名時代が基礎になっていると思います。歴史の基礎を見直すべきです。近隣の市町村にも葦名時代の名所史跡が点在しています。会津一円のゾーン開発構想を各市町村と合同で練ってみてはと思います。	60代以上
	観光誘客について、鶴ヶ城を中心とするコースとして、北門から馬場通りのそぞろ歩きを楽しめる街並みづくりをしてほしいです。遠く離れた七日町通りへの投資はもう十分だと思います。また、役所の廊下なり一室を美術館にしてほしいです。神明通りは、観光客や市民がゆっくり寛げる空間にしてほしいです。	
10 農林業	もっと農道整備に力を入れてほしいです。	40代～50代
	国・県にあまり頼らず、市としてできる事がないか、市と議会で取り組んでほしいです。	60代以上
11 建設・道路	ライフラインおよび生活に必要な分野のため、関心があります。	60代以上
	特に冬場の除雪対策に焦点を当ててもらいたいです。他の市町村では、学校周辺や歩道の除雪等の障がい者の賃金の向上につながるような取組をしています。ボランティアという形で除雪(スノーバスターズ)を行うのではなく、1時間1,000円などの賃金を支払うことを障がい者支援団体と契約し、障がい者の生活の向上を図っている行政もあります。	

	行政と市民との一体的な生活の基盤作りが大切だと思います。	
13	個人的には議員定数を削減してほしいと思います。	40代～50代
議員定数・報酬	人口の割合から議員定数が決定していると思うが、今後毎年人口減の現況に将来に向けた定数減に取り組んでいるのでしょうか。	60代以上
15	学校でのウクレレの導入を推奨します。会津を「ウクレレの町」として盛り上げたい。	40代～50代
その他	400年前に会津に移封した蒲生氏郷は、黒川の地を若松と改めて今日の街割りの基本を作りました。100年先を考えて人づくり及びまちづくりを再考させてはどうでしょうか	60代以上
	放課後子ども教室のオミクロン株感染症対策環境除菌機器整備	
	【防災】 新型コロナウイルス感染症が出現して2年になりますが、ウイルスが変異し、流行を繰り返しています。私たちの生活も影響を受けていて本当に困っています。市の中にコロナ対応チームのような係を設置して、学校や介護施設における感染防止の支援を行い、保育園の職員が濃厚接触になり出勤できなくなった時に一時的に支援に入れるようなボランティアチームを作るなど、働く若い人を助けるような事業があっても良いと思いました。	
	地域の感染状況「世代区分・世代別、ワクチン接種状況の公表」	
	除雪排出地域(場所)の最適化による、排出順位の決定による実施	
未選択	荒舘小学校近辺の通学路は、朝の通勤ラッシュ時や日中の車の通りが多いです。「今年は予定がない、予算がない」などの言い逃れをせずに、道路の拡幅やガードレール等の安全対策をしてほしいです。	60代以上

【問4】その他、広報議会に対する自由なご意見をご記入ください。

区分	記述	年代
議会に対する感想	個人的には必ず読んでいます。議会で可決された内容は、いつまでに遂行されているのでしょうか。結果を見える化してほしいです。	40代～50代
紙面づくり	専門用語が多く、知識が少ない人や、初めて読む方には難解だと思います。	10代
	字が多すぎて読む気にあまりなりません。大人だけ読むのではないので、子どもに読めるように「ふりがな」をもっと多く使用した方がいいと思います。	
	大人が会議している写真だけではなく、表紙のように子どもが楽しく何かをしているのをもっと見たいです。	

	見慣れない言葉には注釈で説明がされており、かなり分かりやすく内容を理解することができました。とても良いと思います。	20代～30代
	もう少し一般市民向けに読みやすさを重視した方がいいのではと考えます。	
	以前よりも紙面が見やすくなり、読みやすくなっています。どうしても文字が多くなってしまう内容ですが、画像や挿絵なども増え、レイアウトも工夫されています。	40代～50代
	各ページにインデックスがあり、見やすく検索しやすくなっています。加えて、色も2色刷りで見やすく経費も少なくなっているように思います。工夫が凝らされており感心することが多いです。	60代以上
	誌面づくり素晴らしいと思います。分かりやすく読みやすいです。今後は新企画も期待しています。	
	議案に対して賛成か反対かはどうしても分かれませんが、特に反対理由が不明確な点もあります。市民のための議会であるため、具体的に明確な理由がほしいです。また、どうしたら更に良くなるのか等出来れば建設的な提案等も明記してほしいです。	
	文字が多すぎます。文字情報も大事だが、もう少しイラストや漫画などを取り入れて親しみやすい構成にしてほしいです。	
	少しでも分かりやすい内容にするために取り組んでいる様子が伺えます。	
	高齢になると目が弱くなるせいか、文字の大きさ、字体、色使い、抜き文字等により、せっかくの良い内容が読みにくくなっていますので、表記を見直してもらいたいです。	
	ページ数、文字数が多すぎてとっつきにくいです。議会特有の言葉、固さがあり、読みにくいです。問題解決や成果を大きく！読みやすく、分かり易く、親しみやすく！	
広報	広報議会とは、どのような活動をしているのでしょうか。	10代
	広報議会紙の購読率に関して再調査の必要性を感じます。	60代以上
新たな取組	子どもや学生に議会についての知識を与えるのが良いと思います。大人に直接、このような議会の広報紙を与えても、興味がない人は中も見ないままになってしまいます。しかし、子どもに議会に触れる機会を与えてあげると、子どもは学校であった出来事を家庭内に持ち込み、家の人に良く話をするので、自然と議会についての話題が団らんの中で出てくるといいます。社会科の授業の一環といっても「議会って何をやっているのだろう」と想像がつきにくい分野のため、出前講座などをやるのはどうでしょうか。	10代
記事内容	11月号の調査・研究の中間総括で、議会の取組や成果について把握できました。	40代～50代

	表紙がとても好感が持てる。	
	表紙が議会と一致しないと思います。議会活動の表紙でも良いのではないのでしょうか。	
	広報議会で取り上げなければわからない事業も多く、興味深く読みました。	
	表紙の写真は子ども（幼児）が多いように感じています。時には社会を支えている方々（医療従事者、危険業務従事者、他）にも光を照らしてくださいと嬉しいです。	60代以上
市民との意見交換会	できることなら、現在の生活様式に合った対面だけでなく ZOOM を使った市民との意見交換会の開催も検討していただけると、更に多方面からの声が拾えると思います。ご検討をお願いいたします。	60代以上
広報紙全体	市民が分かりやすい広報議会を楽しみにしています。	40代～50代
	市政を知るうえで広報紙はありがたいです。	
その他	広報議会とは関係ないかもしれませんが、大戸町も小規模な町も住みたくないような、豊かに発展するまちづくりが必要だと思います。	40代～50代
	市民の声は千差万別なのでバランスは難しいが、若者が住みたい、戻ってきたい場所になるような政治を進めてほしいです。	

【問5】市民の皆様がより身近なものとして議会への関心を持っていただくために、議会として、どのような取組が必要だと思いますか。

区分	記述	年代
議会に対する感想	積極的にイニシアチブやアクションを起こしていくことです。	10代
	議会と聞くと構えてしまう人がほとんどだと思うので、もっと身近に感じるようにするような取組が必要だと思います。	
	素晴らしい人材ばかりの議会であれば、市民は自然と関心を持つと思います。	20代～30代
	政策討論会での調査・研究で市民生活の安心・安全につながるよう取り組んでいただきたいです。	40代～50代
	市役所や市議会は敷居が高くよほどの用事がなければ行くことはありません。選挙の時や避難所開設の時などは職員の動きと対応に感心して身近に感じられます。実生活や困った時、近くにいてくださると嬉しく思います。具体的なことは思い浮かびません。でも水や空気のように大切で必要な機関と思っています。	60代以上
	市民目線の取組を続けてほしいです。	
紙面づくり	用語解説・脚注が充実していて親切だと思いました。基礎知識がない人にも読みやすいです。	10代

	一般の人じゃ分からないような用語の解説や説明を入れることによって、分かりやすくなり多くの人が読むようになるのではないのかと思った。	
広報	知人で広報議会を知らない方がいるので、周知方法の見直しをするなど、市民の声をもっと聞いてほしいです。	40代～50代
	SNSの利用	
	ICTの活用	
	毎月、市政だよりも、議会のことについて掲載してほしいです。まずは、市政だよりもに興味を持つことが一番だと思います。	
	自分の日常的な生活圏の具体的なことに結びついていけば議会の議論にも関心を持つと思います。スマホアプリに関心のあるテーマを登録して、議論が進んだら配信するようにしたらいかがでしょうか。	60代以上
	普段の地域への活動をより活発にして情報を発信してほしいです。	
	議員が町内会館などで行っている町内活動の場を利用し、気軽に議会のPRができる雰囲気作りが必要だと思います。	
	人聞きするところ議会活動が見えないとの声もあります。議会の独自性を出すため議会専用広報車を配置し、議会活動を広く知らせ多くの人の理解高めるために「PR活動」に活用してはどうかと提案します。	
新たな取組	高校生などの若い人に議会を見学する機会を作るといいと思います。	10代
	「議会へのハガキ」などを付けてはどうでしょうか。	40代～50代
	国と県の力を含めながら、コロナ収束後の先を見据えた大きな事業を期待したいです	
	市民の意見を聞く場として意見交換会があるが、もっと広く意見が聞けるようインターネットを活用し、投書してもらうのはいかがですか。	
	現在は新型コロナウイルス感染症の影響で中々人々と会話はできないですが、感染症の流行が収まった場合は、人々と分かりやすく会話をして理解を仰ぐ方が良いと思います。	60代以上
	自治体・地域組織・住民とICTネットワークと結び、様々な課題に対する具体策を提供できる取組が必要だと思います。	
	小学生と子ども議会の交流で、実際の議会を楽しく経験されるといいと思います。 「市民の皆さんの意見が、議会を通して市や町に反映されている事」や「地区や町からの要望があっとなった」など会報を通じて知らされます。関心を高めさせられます。	
	会津は観光都市ではありますが、商工業を中心とした見方だけでなく、地域や弱い立場に置かれている方々の声を実際に聴くことで身近なものに繋がっていくものと思われれます。	
	自分たちが選んだ議員がちゃんと活動しているのか分かることが大事	

	です。委員会、本会議への出席率、質問回数等を分かりやすく一覧表にしてみたいです。 開かれた議会にするために、議会の会場は目立つ・分かり易い場所に移動し、議会の様子が外からも見えるようにする。市民課には人が多く集まるので、議会開催中はモニターを設置して見ることができるコーナーを設ける。	
記事要望	これからも市民とのやり取りであったり、市民の多くが考えていたり、興味のもつ内容を載せてほしいです。 何をすると市民にとってどうなるのかを簡潔に教えてほしい。広報議会を読んでも分かりづらいです。 議会の取組の全体像が見られるマップがあればいい。 議員が日常どんな活動しているか具体的な事例を紹介してほしいです。 議会で審議した内容の後や結果はどうなるのでしょうか。協議や検討の後が知りたいです。質問者が、その後その質問内容がどうなった等の情報を分かりやすくしてほしいです。	20代～30代
	県立病院跡地やスーパーシティ構想の問題は、市民には見えません。議会だよりなど様々な形で知らせてください。	40代～50代
	議会の質問をもう少し内容を考えた方がいいとおもいます。子育てしやすい環境をつくってほしいです。	60代以上
	一般質問がどこから出たものか知りたいです。 一般質問ではもっと身近な問題に取り組んでほしいです。	10代
	（コロナ禍の状況では難しいかと思いますが）意見交換会などを開催する際に、「託児あり」にしていただけると若い世代も参加しやすくなると思います。 市政だよりも、市民との意見交換会が開催されることを記載し「詳しくは広報議会をご覧ください」と案内すれば、参加する人が増えると思います。	60代以上
	広報や市民との意見交換会は良い取組だと思います。 100名程度の意見交換では、市民意見を基にした課題解決にはつながらないと思います。 市民との意見交換会を実施できたことは良かったと思いますが、参加人数が少なかったと思います。オンラインを使って介護や保育の現場の意見を聞くのも良いと思います。 市民との意見交換会を各種団体とも数多く開催してみてもどうでしょうか。 市民との意見交換会を増やすと良いと思います。議会報告の時間はいらぬのではないのでしょうか？市民との意見交換会での討論を広報議	30代～40代

	会に載せてはどうでしょうか。	
	市民との意見交換会は優れた取組だが、それを汲んでの行動とその成果が大事なので、それを広報議会の１ページ目にしてほしい。	
議員	恐縮ですが、お一人お一人の自覚が必要であると思います。ほとんどの議員さんは自覚を持って行動しているとは思いますが、一部で信頼を失う事案がおきてしまうと全体の信頼を失うことにつながるので、議会全体での指導や研修会の実施などをしてはどうでしょうか。	20代～30代
	コロナ禍なので難しいと思いますが、地区から選出されている議員など、地域と議員がもう少し関わり合いがあれば、議員そして議会へ興味が湧くと思います。	
	議会としての取組ではなく、議員改革が必要です。	60代以上
その他	市民が安心して暮らせる町づくりが大事だと思います。	10代

【問６】広報議会モニターとしての活動を通して、ご自身に変化などはありましたか。
良かった点や気付いた点などがありましたら、ご記入ください。

区分	記述	年代
議会に対する感想	広報議会を細かく読んだことは無かったのですが、今回モニターとして活動させていただき、議員の方が多方面に目を向けて尽力されていることに気づきました。何か自分でもできることはないか考える機会になりました。	20代～30代
	市政にも課題があり、それを知ろうとしなければ分からないままであったと感じた。	
	市の行政や議会に対して、今まで以上に興味を持ちました。	40代～50代
	議員の顔と名前が分かり、質問の内容等からも各議員の持ち味がなんとなく分かったような気がします。全体的にいい議会だと思います。	
	議会は行政のチェック機能を有すると言われていますが、会津若松市議会では市民の生活をより良くするために議論していることが分かりました。	60代以上
	市の施策についていろいろな視点から議論されていることがわかりました。	
	議会の動きや一般質問の内容などに関心を持つようになったと思います。	
	議会の内容、会津若松市が抱える問題点や豊富など様々な点で深く感心が持てるようになり、一市民としての自覚が出た感じです。	
紙面づくり	広報紙を改めてしっかり読みました。創意工夫が凝られわかりやすく編集されていることに感心しました。	60代以上
新たな取組	議員の方々を我々行政の末端を担う区長会と今少し形式ばかりでなく、本音で語れる場を作って見てはどうかといつも考えています。	60代以上

記事内容	町のことをたくさん知ることができるのでとても良いです。	10代
	広報議会はいつも流し読みする程度でしたが、今回モニターでじっくり読む機会を得ました。より詳しく議会で行っていることを知ることができました。	20代～30代
	会津若松市において、現在どのような課題などがあって、それに対して議員の方々が動いているかが、広報議会を通して確認できる機会が得られました。	
	これまでは関係する議案や質問にしか興味がなかったが、以前よりも議会の様々な取組に興味を持つようになりました。	40代～50代
モニター制度	今まで読んでいなかった広報紙を見るようになりました。会津若松について知る機会となりました。	10代
	今までは1度も広報議会を読んだことがありませんでしたが、モニターとして読むようになり、会津若松市を良くする為に行われていることを知ることができ、とても良い経験になりました。	40代～50代
	このような活動が、市民一人ひとりの意見が行政に反映されるきっかけになれば良いと思います。	
	モニターはとても楽しいので、継続できればと思います。	
	以前はあまり広報議会を読む機会がありませんでしたが、詳しく見るようになりました。	60代以上
	広報議会モニターとして、広い範囲で会津若松市の在り方を見られるようになりました。観光・定数・財政など、市役所の在り方と市議会の在り方が理解できるようになりました。高齢者でもお役に立てる事に喜びを感じております。今後益々ご指導の程宜しくお願い致します。	
	新聞やテレビなどで会津若松市議会関係のニュースに注意を払うようになりました。	
	今までにも増して、広報議会を熟読するようになりました。また、各議員の活動に関心を持てるようになりました。	
	広報等は今まで送付されていましたが、目を通す事は殆どありませんでした。今回、モニターの立場となり質問内容にも目を配って確認することができました。各議員の方の個々の取組を確認できたことは参考になりました。	
広報紙全体	自分では知らなかった議会の流れなどを知ることができたので、これからはもっと政治に興味を持っていきたいと思いました。	10代
	今までは気になる記事のみ読むだけで全体をサッと目を通す程度であったが、モニターとなってからは、市がどのように動いているのか全てに目を通すようになった。一市民として市の取組に関心を持つことの大切さを感じました。	40代～50代
	広報議会を読むようになった。モニターでなければ見なかったかもしれま	

	せん。	
	議会や市政への興味関心が広がり、しっかりと目を通すようになりました。	
	時間をかけて読むようになりました。	
	今まで関心のなかった分野まで目を向けなくてはと感じました。	
	広報議会を今まで以上に関心を持って見るようになりました。	
	見聞や知識の向上に繋がりました。また、市民の動向や経済の動きなど、市政の流れなどが理解できるようになりました。	60 代以上
	今回のモニターになったことで、他市町村の議会広報が気になり、つい見比べてしまう事がありました。	
	広報議会をしっかりと読むようになった。市政について考えるきっかけになりました。	
その他	今までは市政についてあまり興味を持っていなかったが、18 歳になり政治に関わるための良いきっかけになりました。	10 代
	個人的な思いを述べる機会を与えていただき感謝です。	40 代～50 代
	あまり変わりません。	60 代以上
	コロナ禍により人との対話、接触する機会が制限されている現在、早期にコロナ禍が収束し、人と人の直接的対話の中から新たな前向きな情報が得られることを願うばかりです。	